一般財団法人 日本語教育振興協会 教育活動評価委員会 総合所見(抜粋)

【達成状況】

当校の母体である進学塾の 40 年間の経験と実績を生かし、水準の高い大学、専門学校への進学実現を目指して、学校を運営している。日本の文化・習慣の理解、ひいては日本語習得の基礎となる「努力を怠らない、約束を守る、礼儀正しく」を「育成する人材像」に掲げ、入学時や長期休暇前のオリエンテーション、新入生合宿(入学期ごとの一泊学習)、寮生活(半年間の全寮制)などを通じて、徹底した指導が行われているほか、長期休暇を含む休業日は学生の勉学に備えて校舎を開放し、自習や学生の相談等に対応する教員を配置するなど、教育の目標等に即した取組は評価できる。

オリエンテーション資料を始め、各資料を駆使した生活指導・進路指導のための入念な 資料が整備され、面談週間、試験ごとの面談、出席率・宿題提出率の提示など、勉学への動 機づけや学生が規律正しい生活を送るような工夫が凝らされている。

校長、教務、事務感にしっかりした分担と連携が成立しており、きめ細かな指導がなされている。